

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第641号 2023年7月9日

## 堅信式・祝賀会ならびに西村師送別会

5月28日(日) <聖霊降臨の祝日>11時30分ミサの中で、ラファエル梅村昌弘司教主司式による堅信式が執り行われ、日本人5人、外国籍1人がお恵みにあずかりました。教会から受堅者へお渡しした記念品は、掛けるタイプの十字架でした。

祭儀後にコロナ禍で2020年から中止されていた祝賀会とフィリピンに研修に行かれる西村英樹師の送別会が教会ホールで開催されました。会場には軽食と飲み物が用意され、久しぶりのパーティに多くの信徒が参加しました。司教館からは梅村司教、教区副事務局長の谷脇慎太郎師、山手教会からは鈴木真主任司祭、ダリル助任司祭、西村助任司祭、また4月の人事異動で磯子教会へ協力司祭として赴任され、山手教会の司祭・信徒館で生活されている内藤聡師が参加されました。

## 梅村司教説教(要旨)

きょうは聖霊降臨の日を迎え、このミサをささげています。復活節をもってこの聖霊降臨を祝うために、わたしたちは準備をしてきました。復活節は、まさに主の復活とともに祝う季節でありますけれども、同時に聖霊降臨を迎えるための準備の季節でもあります。そして、まさに、きょう、その準備をしたうえで聖霊降臨の日を迎えた。第2バチカン公会議を終え、今日の典礼が行われるようになったとき、同時にパウロ6世教皇は堅信式をもって第2の

聖霊降臨と位置付けられました。きょうは6人が堅信の秘跡を受けられます。聖霊降臨の日に堅信式が行われることは、とても意義あることだと思います。

使徒たちは、聖霊を受けて宣教のわざに励むようになり、さまざまなところに新たな教会がきざかれています。その弟子たちも突然、聖霊降臨という不思議な出来事を通して宣教に励むようになったのかというと、そうでもないように思います。特に復活節を通して、わたしたちは復活なされたイエスさまが、たびたび弟子にご出現になったということは文章を通して耳にしていたわけですが、受難、十字架上の苦しみのときに弟子たちは皆、わが身かわいさに裏切りました。しかし、復活なされたイエスさまは、そのことを一度もとがめられたことはありませんでした。わたしたちは福音を通してそのことを理解しています。そのゆるしを通して弟子たちは神さまの大きな愛に出会い、その愛を通して弟子たちは大きく変えられた。そして、この聖霊降臨を迎えて聖霊の働きを受け、たくましい宣教者に変えられていったということです。わたしたちも、そのためにイエス・キリストを通して神の愛に出会うことができたいと思います。弟子たちは、自分第一として生きる生き方から他者のために生きる生き方に変えられていった。

わたしたちは主に召されたものとして、神さまの恐れ多きゆるしをもって、イエス・キリストを通して示された神の愛を示し、人々を救うことができたいと思います。